

FX NEWS PRESS

2025年

8 月号

2025年8月4日発行
FXニュースプレス
(No.224)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

*FRBによる利下げ再開
時期に要注目*

【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeek Ryreportを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメント！で公開！

詳しくはホームページをご覧ください

 AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

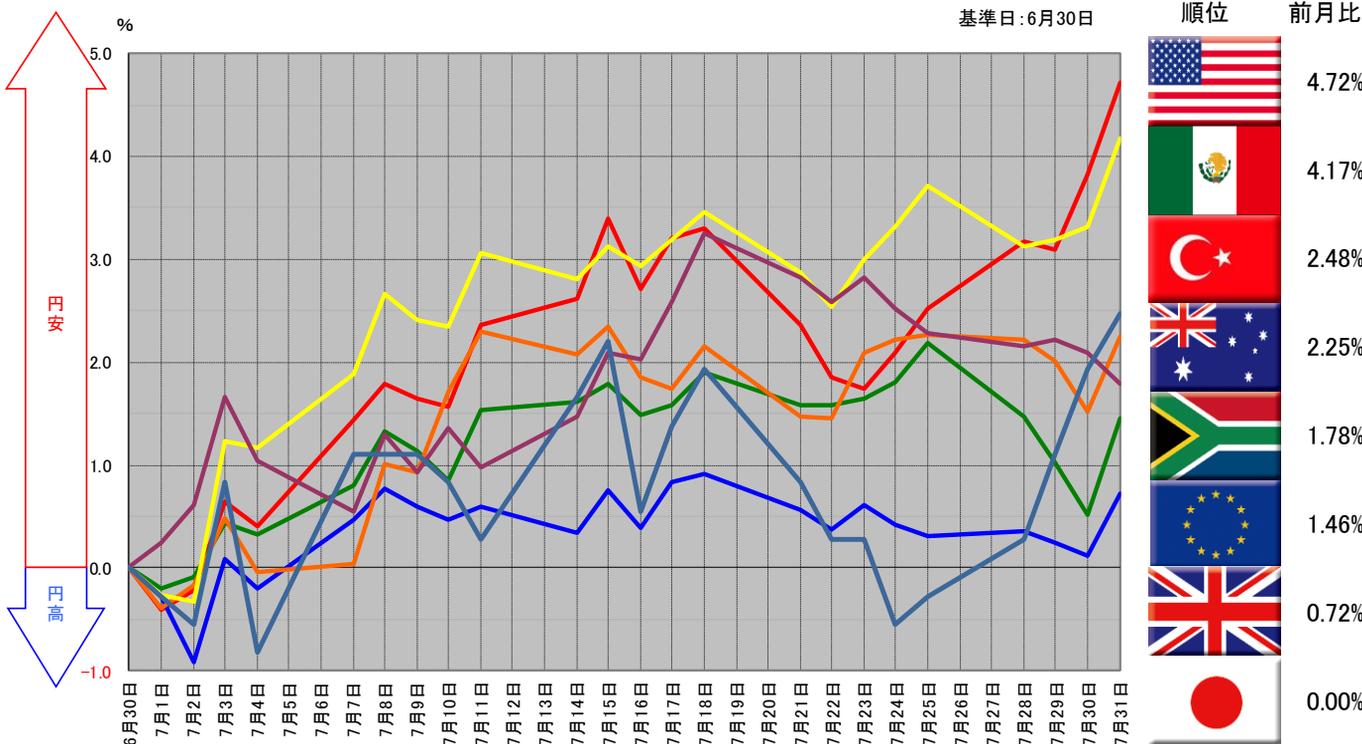
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

米ドル円 (基準値:144) ユーロ円 (基準値:169.66) ボンド円 (基準値:197.73) 豪ドル円 (基準値:94.755)
 ペソ円 (基準値:7.675) ランド円 (基準値:8.13) トルコ円 (基準値:3.63)

7月31日時点評価

基準日:6月30日

順位 前月比



7月1日 米早期利下げ観測強まる

前日発表の6月シカゴ購買部協会景気指数 (PMI) が弱く、米連邦準備理事会 (FRB) の利下げ再開が早まるとの観測から、米10年債利回りが一時4.1852%前後と5月1日以来2カ月ぶりの低水準を付けると円買い・ドル売りが先行し、一時142.68円と日通し安値を更新した。なお、パウエルFRB議長は欧州中央銀行 (ECB) 主催の討論会で金融政策を慎重に判断する姿勢を改めて示したものの、相場への反応は限定的となった。

7月3日 米雇用統計

米労働省が発表した6月雇用統計では非農業部門雇用者数が前月比14.7万人増と予想の11.0万人増を上回り、失業率は4.1%と予想の4.3%より強い内容となった。労働市場の減速懸念が薄れ、米連邦準備理事会 (FRB) による早期利下げ観測が後退すると、米長期金利の上昇とともに全般的にドル買いが先行。一時145.23円と日通し高値を更新。買い一巡後も、6月ISM非製造業景況感指数が予想を上回ると再び強含んだ。

7月8日 RBA政策金利

豪準備銀行 (RBA) が大方の利下げ予想に反して政策金利を3.85%に据え置きと発表したことで、対米ドルで0.6558ドルまで上値を伸ばした。豪ドル円も95.70円まで上昇した。なお、ブロック総裁は「慎重かつ段階的な緩和アプローチを維持することが適切」「インフレ率が持続的に2.5%に到達することを確認するため、もう少し情報を持つことができる」と判断などと述べた。

7月11日 米利下げ観測後退

トランプ政権の高関税が米国の物価上昇につながるなどの観測を背景に、ニューヨーク勢の参入後は米長期金利の上昇とともに上値を試す動きとなった。また、トランプ政権の関税政策の影響を警戒し、日銀が利上げに慎重になるとの見方や、米連邦準備理事会 (FRB) の利下げ見通しの不透明感が根強く、一時147.52円まで上昇。引けにかけても米10年債利回りが4.42%台まで上昇幅を拡大する中で底堅く推移した。

7月15日 米消費者物価指数

6月消費者物価指数 (CPI) はおおむね市場予想通りだったが、関税政策が米国の物価を今後押し上げるとの懸念は根強い。さらに、7月NY連銀製造業景況指数が予想外のプラスに改善したことから、連邦準備理事会 (FRB) が当面は金利を据え置くとの観測が広がった。一時4.39%台まで低下していた10年債利回りが4.48%台まで上昇すると、ドル買いが活発化。一時149.02円と4月3日以来約3カ月半ぶりの高値を更新した。

7月17日 強気の米経済指標を好感

米6月小売売上高が予想以上に回復したことや7月米フィラデルフィア連銀製造業景況指数、米週次新規失業保険申請件数が予想より強い内容だったことから、円売り・ドル買いが先行。一時149.09円と日通し高値を更新した。その後も、連邦準備制度理事会 (FRB) のクグラー理事は講演で「年末にかけてインフレ率がさらに高まる可能性が高い」との認識を示したことも買い材料となった。

7月22日 金利低下でドル弱含み

米長期金利の指標となる10年債利回りが4.32%台まで低下したことなどを手掛かりに円買い・ドル売りが先行。その後も、リッチモンド連銀が発表した7月の製造業景況指数はマイナス20と、ダウ・ジョーンズ通信がまとめた予想を下回ったことも相場の重しとなり、一時146.31円と日通し安値を更新した。また、ベッセント財務長官がパウエル議長は現時点で辞任する必要はないと、支持する姿勢を示したことでドル売りが続いた。

7月24日 ECB政策金利

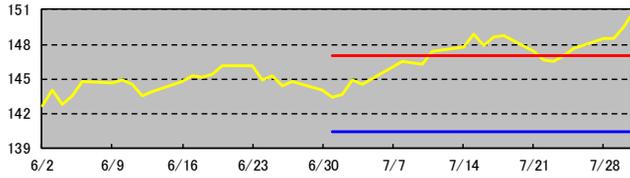
欧州中央銀行 (ECB) は予想通り政策金利を現行の2.15%に据え置くことを決めたと発表。ラガルドECB総裁は理事会後の会見で「経済成長のリスクは引き続き下振れ方向にある」としながらも、経済の強さに言及したため年内の利下げ観測が後退し、ユーロ買いが優勢となり、1.1789ドルと7日以来の高値を付けた。買い一巡後は、EUが米政権と関税措置を巡る交渉を続ける中、様子見ムードが広がり上値が重くなった。

7月30日 FOMC政策金利

米連邦準備理事会 (FRB) はFOMCの結果を公表し、予想通り政策金利の据え置きを決定。パウエルFRB議長はFOMC後の記者会見で「インフレが目標である2%をわずかに上回っており、労働市場も底堅いことから「金融政策がいくらか制限的であるべきだ」との見方を示した。市場では「タカ派的」と受け止められ、取引終了間際には一時149.54円と4月2日以来の高値を更新した。

ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
140.50	147.00



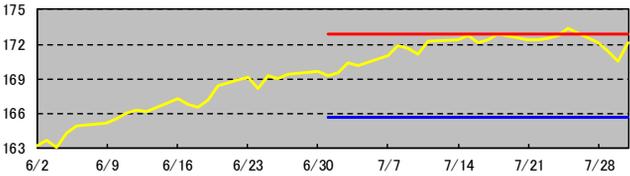
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを上抜けた。

ユーロ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
165.70	172.90



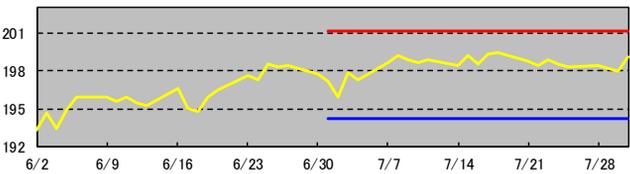
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジ内で推移したが、下値は限られた。

ポンド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
194.30	201.20



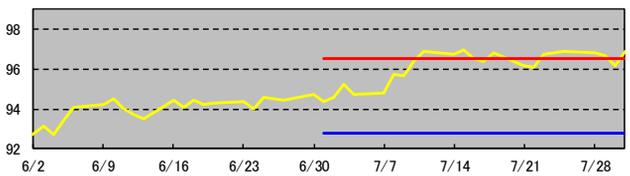
逆張り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ内で推移した。

豪ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
92.80	96.50



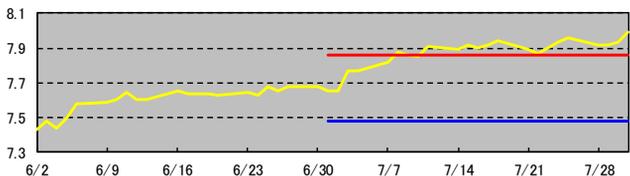
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジ内で推移したが、下値は限られた。

ペソ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.48	7.86



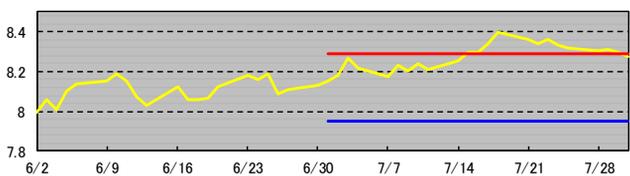
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを上抜けた。

ランド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.95	8.29



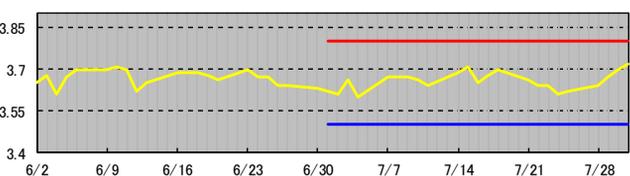
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジを上抜けた。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
3.50	3.80



逆張り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ内で推移した。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 152.20円
 ↓ 144.20円



2025年3月3日～2025年7月31日

米ドル/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(152.18)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7/7安値(144.23)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(144.20)を下抜けた場合。この場合は4/23安値(141.51)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

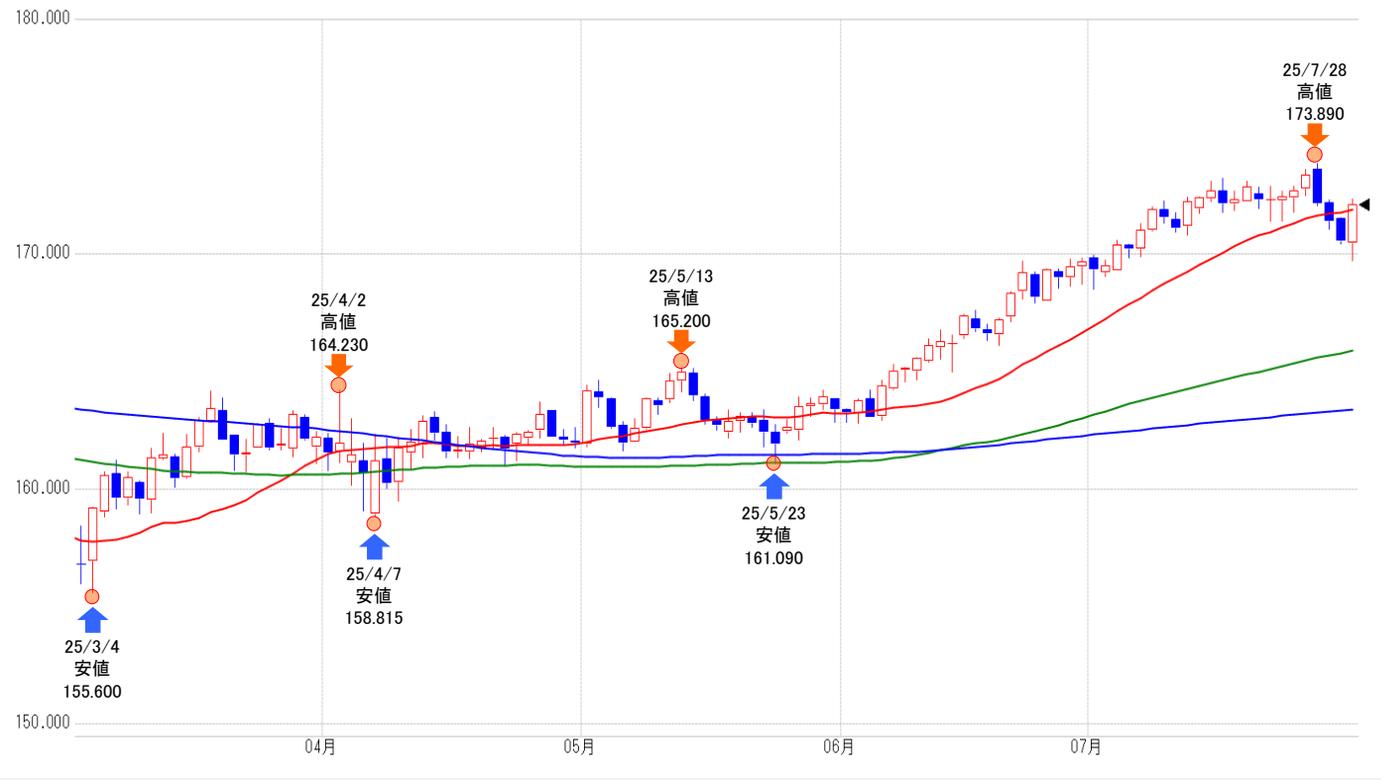
発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 21:30	7月失業率	4.2%	4.1%	★★
8/1 22:45	7月製造業PMI	49.8	49.5	★★
8/1 23:00	7月ISM製造業景気指数	48.0	49.0	★★
8/5 23:00	7月ISM非製造業景気指数		50.8	★★
8/12 21:30	7月消費者物価指数(前年比)		2.70%	★★
8/14 21:30	7月生産者物価指数(前年比)		2.30%	★★
8/15 21:30	7月小売売上高(前月比)		0.60%	★★
8/21 22:45	8月製造業PMI		49.5	★★
8/26 21:30	7月耐久財受注(前月比)		-9.30%	★★
8/28 21:30	第2四半期 実質GDP(前期比年率)		3.00%	★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠くものである。)



2025年3月3日～2025年7月31日
 ユーロ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目174円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また相対力指数(RSI・14日)は逆行現象を示しており、上昇基調の衰えが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(173.86)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/24安値(167.90)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(167.90)を下抜けた場合。この場合は89日移動平均線(165.89)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

8/1 17:00	7月製造業PMI	49.8	49.8	★★
8/1 18:00	7月消費者物価指数(前年比)	2.00%	2.00%	★★
8/5 18:00	6月生産者物価指数(前年比)		0.30%	★★
8/6 18:00	6月小売売上高(前年比)		1.80%	★★
8/12 18:00	8月ZEW景況感指数		36.1	★★
8/14 18:00	6月鉱工業生産指数(前年比)		3.70%	★★
8/21 17:00	8月サービス業PMI		51.2	★★
8/21 17:00	8月製造業PMI		49.8	★★
8/28 18:00	8月景況感指数		95.8	★★

<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

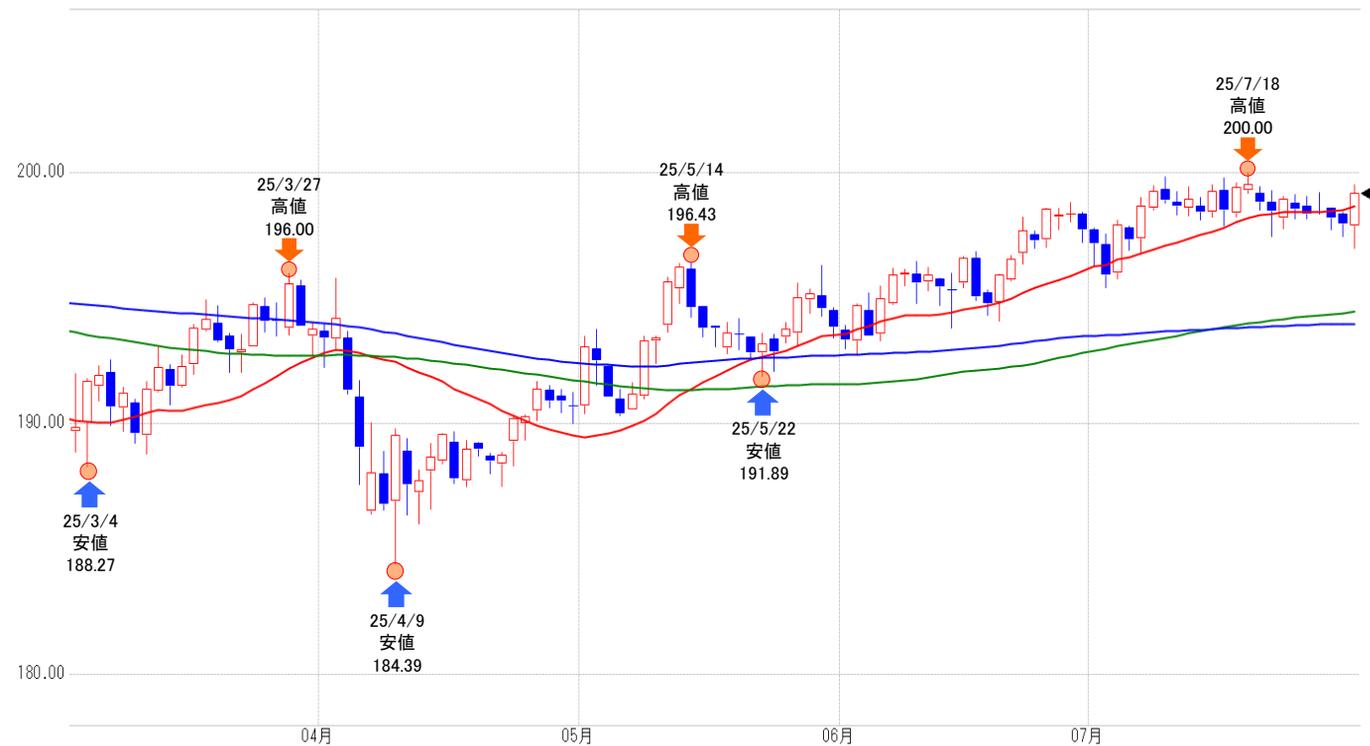
予想レンジ

↑ 199.60円
↓ 192.70円



2025年3月3日～2025年7月31日
ポンド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ **70%**

実線は、7/9高値(199.85)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また相対力指数(RSI・14日)は逆行現象を示しており、上昇基調の衰えが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(199.57)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/3安値(192.75)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ **30%**

予想レンジの下限(192.70)を下抜けた場合。この場合は4/30安値(190.00)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 15:00	7月住宅価格指数(前年比)	2.4%	2.1%	★★
8/6 17:30	7月建設業PMI		48.8	★★
8/7 20:00	英中銀政策金利		4.25%	★★★
8/12 15:00	7月失業率		4.50%	★★
8/14 15:00	第2四半期 実質GDP(前年比)		1.30%	★★
8/14 15:00	6月鉱工業生産指数(前年比)		-0.3%	★★
8/20 15:00	7月消費者物価指数(前年比)		3.60%	★★
8/22 8:01	8月GfK消費者信頼感調査		-19.0	★★
8/22 15:00	7月小売売上高(前年比)		1.7%	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)

豪ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 97.80円
↓ 93.40円



2025年3月3日～2025年7月31日
豪ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、7/15高値(97.44)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内の動きが予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(97.79)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/16安値(93.40)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(93.40)を下抜けた場合。この場合は5/30安値(92.00)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 10:30	第2四半期生産者物価指数(前年比)	3.4%	3.7%	★★
8/12 13:30	豪中銀政策金利		3.85%	★★★
8/13 10:30	第2四半期賃金指数(前年比)		3.4%	★★
8/14 10:30	7月失業率		4.30%	★★
8/14 10:30	7月正規雇用者数(前月比)		-3.82万人	★★
8/19 9:30	8月消費者信頼感指数(前月比)		0.60%	★★
8/19 9:30	7月Westpac先行指数(前月比)		-0.03%	★★
8/19 9:30	7月消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 8.090円
↓ 7.590円



2025年3月3日～2025年7月31日
メキシコ/円 [日足]

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線をサポートに、切り返しの動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも上昇しており、基調の強さが示されつつあるものと考えます。7月の値動きから導き出した計算値(8.085)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/24安値(7.590)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.590)を下抜けた場合。この場合は6/3安値(7.415)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表 時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/7 21:00	7月消費者物価指数(前年比)		4.32%	★★
8/8 4:00	メキシコ中銀政策金利		8.00%	★★★★
8/11 21:00	6月鉱工業生産指数(前年比)		-0.80%	★★
8/22 21:00	第2四半期実質GDP(前年比)		0.10%	★★
8/27 21:00	7月貿易収支		5.144億億	★★
8/28 21:00	7月失業率		2.69%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2025年3月3日～2025年7月31日

ランド/円 【日足】

移動平均線：-短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、節目8.4円が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日・89日移動平均線は上昇、200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。7月の値動きから導き出した計算値(8.385)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、6/13安値(7.950)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.950)を下抜けた場合。この場合は5/2安値(7.790)を試す展開が考えられます。

📅 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
8/1 8:30	日本	6月失業率	2.50%	2.50%	★★
8/8 21:30	カナダ	7月失業率		6.90%	★★
8/12 18:30	南ア	第2四半期失業率		32.90%	★★
8/15 8:50	日本	第2四半期実質GDP(前期比年率)		-0.20%	★★
8/19 21:30	カナダ	7月消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★
8/20 17:00	南ア	7月消費者物価指数(前年比)		3.00%	★★
8/22 8:30	日本	7月全国消費者物価指数(前年比)		3.30%	★★
8/29 8:30	日本	7月完全失業率			★★
8/29 21:30	カナダ	6月実質GDP(前年比)			★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 3.90円
↓ 3.50円



2025年3月3日～2025年7月31日
トルコ/円 [日足]



メインシナリオ 70%

実線は、3/19安値(3.38)をサポートに、切り返しの動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日・200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。節目3.9円では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(3.52)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(3.50)を下抜けた場合。この場合は7/24安値(3.37)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
8/1 16:00	7月製造業PMI	45.9	46.7	★★
8/4 16:00	7月消費者物価指数(前年比)		35.05%	★★
8/4 16:00	7月生産者物価指数(前年比)		24.45%	★★
8/11 16:00	6月鉱工業生産指数(前年比)		4.90%	★★
8/12 16:00	5月経常収支		-6.8億USD	★★
8/21 16:00	8月消費者信頼感指数		83.5	★★
8/25 16:00	8月設備稼働率		74.20%	★★
8/28 16:00	7月貿易収支		-80.0億USD	★★
8/29 16:00	7月失業率		8.60%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすペリの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.1770
 ↓ 1.1280



2025年3月3日～2025年7月31日
 ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、6/17高値(1.1788)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は下降、89日・200日移動平均線は上昇しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。7/28高値(1.1770)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、7月の値動きから導き出した計算値(1.1282)がサポートになると予想しています。

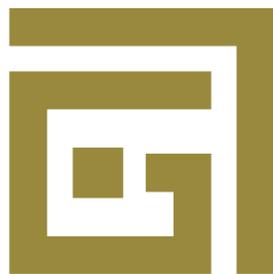
リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(1.1280)を下抜けた場合。この場合は5/13安値(1.1089)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
24年	8月	6,511円	4,991円	7,880円	3,348円	6,654円	5,226円	1,324円	-15.55ドル
	9月	6,093円	4,790円	7,760円	3,323円	6,180円	4,795円	1,085円	-14.46ドル
	10月	6,827円	5,110円	9,117円	3,981円	7,344円	5,708円	1,124円	-15.49ドル
	11月	5,464円	3,995円	7,115円	3,203円	6,378円	4,857円	896円	-12.14ドル
	12月	6,885円	4,858円	9,366円	3,772円	7,845円	5,755円	1,212円	-16.18ドル
25年	1月	5,517円	3,906円	7,412円	3,273円	5,880円	4,836円	1,060円	-12.48ドル
	2月	4,893円	3,073円	6,297円	2,842円	5,139円	4,253円	928円	-13.64ドル
	3月	4,886円	2,923円	6,488円	2,672円	5,106円	4,228円	947円	-16.15ドル
	4月	5,560円	3,164円	7,487円	3,091円	5,661円	4,353円	1,129円	-20.55ドル
	5月	4,574円	2,402円	5,902円	2,534円	4,934円	3,823円	840円	-20.84ドル
	6月	4,701円	2,334円	6,171円	2,574円	4,529円	4,087円	936円	-21.73ドル
	7月	5,386円	2,578円	7,049円	3,083円	5,228円	4,771円	1,030円	-25.78ドル
	計	67,297円	44,124円	88,044円	37,696円	70,878円	56,692円	12,511円	-204.99ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)



AIゴールド証券

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,480円～79,610円(2025年8月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員